

令和3年度学習院大学史料館秋季特別展

ボンボニエールが つむ 紡ぐ物語

カワイイ！だけじゃない



令和3年

9月13日(月) ▶ 12月3日(金)

会場：学習院大学史料館展示室 (学習院大学 北2号館1階)

開室：月～金曜日 12:00～15:00

※9月中は11:00～、祝日(20・23日)も特別開室

閉室：土・日曜、祝日

主催：学習院大学史料館

共催：一般社団法人 霞会館

協力：学習院大学文学部日本語日本文学科

※入場無料

関東初公開！

定家本源氏物語「若紫」

期間限定展示 9月13日～9月30日

犬張子形ボンボニエール
昭和9年2月23日 継宮明仁親王(上皇陛下)誕生内宴
【個人蔵】 縦3.0 横5.4 高5.0 (cm) (写真は実寸大)

ボンボニエールとは、皇室の御慶事に際して制作・配布される菓子器です。フランス・イタリアなどの西欧諸国では結婚や子供の誕生の際に容器入りの菓子（Bonbonnière）を配る慣習があり、この慣習は明治中期に日本の皇室にもたらされました。日本では容器に加飾をすることで、伝統工芸の技術を継承し職人の保護育成をはかり、海外への広報の役も担う日本独自の工芸品として発展します。

手のひらにのるミニチュア感が人々の心を捉えたのか、皇室のみならず華族家や企業、一般家庭にまでその慣習は広がり、数百種におよぶボンボニエールが作られました。皇室ではこの慣習が現在も続いており、御慶事の際にはボンボニエールが作られています。

本展では調査研究より明らかとなった歴史的背景からボンボニエールが持つ物語を紐解き、日本独自の美しい伝統文化と工芸技術をご覧いただきたいと思います。

また、この展覧会に合わせて、一昨年発見された定家本 源氏物語「若紫」（大河内家所蔵）を関東圏で初めて公開いたします。二つの雅やかな世界をご堪能ください。

I ボンボニエールの始まりの物語

現在にも続く物語は明治から



II 外国との絆の物語

紡がれた国と国との友情



III かわいいの物語

魅力をたっぷりご覧あれ



IV デザインとお印の物語

素敵な形や文様は誰が考え、決めたのか



V 歴史の中の物語

日本近代史の目撃者でもあった



VI 様々な形の物語

掌上の外交官の活躍



VII 様々な材質の物語

ミニチュアに込められた伝統技術



関連講座：第 93 回史料館講座

《対談》「物語の玉手箱 ボンボニエール」

橋本麻里氏（永青文庫副館長）

× 長佐古美奈子（当館学芸員）

※WEB 上にて 10 月より配信予定

特別展示（9月13日～9月30日）

定家本

源氏物語「若紫」（大河内家所蔵）

一昨年発見されて話題となった本作品を期間限定で公開いたします。

学習院大学史料館

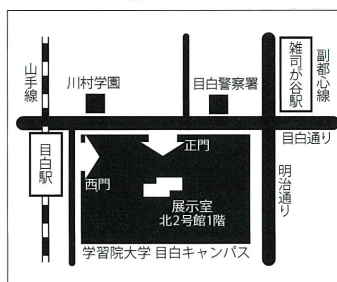
〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

TEL 03-5992-1173

<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>

学習院大学史料館 公式 Twitter

https://twitter.com/g_shiryokan



＊感染症対策へのご理解＊

ご協力をお願い申し上げます＊
今後の感染状況により、開催方法・開催日時が急遽変更となる場合がございます。ご来場の前には当館のホームページ、ツイッター（左QRコード）にて、最新情報と感染症対策をご確認ください。

ボンボニエール画像：（上段右より）八稜形鳳凰文、鳩に地球儀形、兎置物形、香合形色絵柏文、（下段右より）注口付扁壺形、御座船形、手箱形年中行事蒔絵
【すべて当館蔵】